

知行合一

学校教育目標：夢実現 潤いと輝きにあふれる学校

校訓
自主 誠実 躍進
田浦中学校だより No. 7
令和7年11月28日
文責：校長 山下暢子

之（これ）を知るを之を知ると為（な）し、知らざるを知らずと為す。

是（こ）れ知るなり。

（論語百選：14ページ）

訳：自分が知っていることを知っているとして、知らないことはまだ知らないと率直になることが、知るということだ。

知らなかつたら恥ずかしいという思いから、私たちは知っているふりをすることがよくあります。しかし、知っているふりをすることで、正しい知識を得る機会を逃すことがあります。知らないことは知らないから教えてほしいと正直に伝えることができる人であります。

文化祭 終了!!

11月14日（金）、令和7年度文化祭を開催しました。オープニングからクロージングまで、生徒会執行部が工夫し、2年佐竹優真くん演じる少年が、「写真家になりたい」という夢を叶えるため、自信をなくしながらも文化祭に取り組むみんなの頑張りを見ながら、自分も自信を取り戻し、夢を叶えるというストーリー立てで、テーマ「自信～失敗を恐れず積極的な行動を～」を表現しました。また、発表と発表のつなぎでは、学級委員が見所を面白く紹介しました。平松樹来実行委員長を中心に、執行部、学級委員会、図書・文化委員会、放送委員会が文化祭を陰で支え、成功に導いてくれました。



昨年度と同じように、1年生の「阿蘇神社ものがたり（臼太鼓踊り）」でスタートしました。最初は緊張した様子が見られましたが、後半はリズムよく、鐘と太鼓で奏でるメロディーに合わせ、堂々と踊りを披露しました。昨年度から取り組んだ臼太鼓踊りですが臼太鼓踊り保存会の方々の協力がなければ成り立ちません。夏の暑い時期から、忙しい中毎週指導に来ていただきました。文化祭当日

も参観していただき「覚えも早く上手。中学生だから、このリズムができる。」と、ほめていただきました。11月18日（火）の阿蘇神社の祭りでも披露しました。

2年生は「クイズ7 2人の壁」。12月に修学旅行で訪れる「沖縄」についてのクイズでした。観覧者も参加する形でのクイズでしたが、一問目の沖縄方言クイズから難しく、残念ながら全問正解はいませんでした。クイズの内容も工夫があり、9月に体験した職場体験の学びを取り入れたり、芦北と沖縄の共通点や相違点を出題したり、住んでいる芦北と沖縄を照らし合せたクイズはとても勉強



になりました。2年生の総合的な学習は「田浦に学ぶ」です。沖縄を知ることで、田浦を含め芦北を再認識できたクイズでした。

3年生は、今の自分たちを投影した劇、「受験に臨むがん太くん」です。ユーモアを含めながらも、進路実現に向けて今すべきことを表現していました。堂々と演技をする人、小道具や大道具係、ナレーションにスポットライト係など、全員が自分の持ち場で一生懸命に取り組んでいました。3年生にとって、大きな学校行事はこれが最後です。12月からは三者面談も始まり、いよいよ進路決定の時期になります。この劇に取り組む中で考えることもあったと思います。



今年度も、地域の方と「相撲甚句」に取り組みました。昨年度、生徒が作成した甚句を披露しました。これが、田浦中の伝統になればと思っています。

今回の文化祭に向けて、生徒たちは、「自信カード」にそれぞれの目標を書いていました。2年生の廣岡夢來さんの「自信カード」には、「ソプラノだけのところを大きく歌う。発表では、緊張するかもしれないけれど、深呼吸して落ち着いて話す。」と書かれていました。文化祭当日、しっかりと合唱をし、わかりやすく発表する姿は、堂々とし、自信にあふれています。このように、生徒一人一人の大きな成長を感じられる文化祭でした。

同時に合唱コンクールも開催しました。1年生は元気よく、2年生はしっかりと音を合わせ、3年生はまとまりのある歌声で、声の成長を感じられる歌声を楽しむことができました。全校合唱の「Reply」は、全学年の声が合わさり、田浦中の良さが現れた合唱でした。伴奏者の川上航汰くん、岡本莉良さん、指揮者の迫本琉偉くん、山野翼くん、山本響介くんは、素晴らしいピアノ演奏と流れるような指揮で歌声を支えてくれました。3年生は、11月18日（火）に葦北郡中学校音楽会でも歌声を披露しました。



お知らせ

12月19日（金）芦北町合併20周年記念事業（田浦校区）講演会 開催

会場：芦北町地域活性化センター

時間：13：30～15：30

講師：田中杜旺KABアナウンサー

※詳しくは、別紙ちらしをご覧ください。

小中合同あいさつ運動

1月のあいさつ運動は、1月9日（金）、1月23日（金）に実施します。